

<input type="checkbox"/>	N K G メールマガジン	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	2011年2月号（2月1日）	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	社団法人 日本語教育学会	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<a href="http://wwwsoc.nii.ac.jp/nkg/">http://wwwsoc.nii.ac.jp/nkg/</a>	<input type="checkbox"/>

☆☆☆-----

目次

- 【1】学会からの情報
- 【2】日本語教育の情報
- 【3】賛助会員からの情報
- 【4】一般情報・募集

-----☆☆☆

---



---

【1】学会からの情報

---



---

■ 1 ■ イベント／催事

1  日本語教師研修（3月5日）

「ケース（事例）で学ぶビジネス日本語教育」  
 一問題解決型討論活動のデザイナー

- ・日 時：3月5日（土）10：00-17：00
- ・場 所：政策研究大学院大学
- ・参加費：一般 5,000円，会員 4,000円，学生 3,000円
- ・申込締切：2月14日（月）※定員に達し次第募集終了
- 詳細は，

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/nkg/kenshu/kensyu-2010/2010bussines.pdf>

2  2010年度第11回研究集会（関西地区）（3月12日）

- ・日 時：3月12日（土）
- ・場 所：日本学生支援機構大阪日本語教育センター
- ・講 演：実践女子大学 山内博之

「プロフィシエンシーを支える語彙・文法」

- ・研究発表：4会場 全16件
- ・事前の参加申込は不要です。学会員でない方もご参加できます。

→詳細は,

[http://wwwsoc.nii.ac.jp/nkg/kenshu/kenkyusyukai/  
%82%8B%82%8B-10-11.pdf](http://wwwsoc.nii.ac.jp/nkg/kenshu/kenkyusyukai/%82%8B%82%8B-10-11.pdf)

□3□ 2011年度研究集会 発表応募受付中

- ・第1回 6月4日(土)九州地区 立命館アジア太平洋大学(APU)  
※発表応募締切：2月13日(日)
- ・第2回 6月5日(日)九州地区 立命館アジア太平洋大学(APU)  
※会員研修：詳細は後日ご連絡いたします
- ・第3回 6月11日(土)中部地区 愛知教育大学(予定)  
※発表応募締切：2月18日(金)
- ・第4回 6月18日(土)北陸地区 福井大学  
※発表応募締切：2月12日(土)
- ・第5回 7月3日(日)北海道地区 藤女子大学 ★会場校が変更。  
※発表応募締切：3月4日(金)

→詳細は, <http://wwwsoc.nii.ac.jp/nkg/menu-syukai.htm>

→発表応募規定は,

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/nkg/kenkyu/kk-yoko-1.htm>

□4□ 2011年度実践研究フォーラム 発表応募受付中 →3/7 締切

- ・日程：7月30日(土)・31日(日)
- ・場所：東京地区(予定)
- ・テーマ「実践・研究・実践研究を問い直す」
- ・発表応募締切：3月7日(月)
- ・ラウンドテーブル, ポスターセッション募集中

→詳細は,

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/nkg/kenkyu/Forum/kk-Forum.htm>

WEB版『日本語教育実践研究フォーラム報告』

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/nkg/kenkyu/Forumhoukoku/kk-Forumhoukoku.htm>

□5□ ビジネス日本語研究会 (SIG)第3回研究会

- ・日時：2月18日(金) 18:00-20:30

- ・場 所：政策研究大学院大学
  - ・申込締切：2月4日（金）昼12時
- 詳細は、<http://www3.grips.ac.jp/~BusinessJapanese/news.html>

□6□ 異文化間教育学会 創立30周年記念事業

学会連携公開シンポジウム「多文化社会を担う人づくり」

- ・日 時：3月17日（木）13：30-17：00（受付12：45）
  - ・場 所：明治大学駿河台キャンパス アカデミーホール
  - ・趣 旨：「多文化社会を担う人づくり」をテーマに、多文化や国際にかかわる学会間の交流とリソースの共有から学会の社会貢献を実現する。
  - ・参加費：無料
- 詳細は、<http://www.intercultural.jp/seminar/sympo.html>

■2■ 入会案内

いつでもご入会できます。

<普通会員>

- ・大会発表の応募や学会誌の投稿ができます（個人会員のみ）。
- ・年3回学会誌が配送されます。
- ・学会主催の研修会や研究会の参加費の割引などの特典があります。
- ・会員向けメールで情報を受け取ることができます。

<賛助会員>

- ・NKGメールマガジンに無料で情報を掲載できます。
- ・春季（5月）・秋季（10月）の大会に招待されます（人数制限あり）。
- ・学会発行物への広告掲載料の割引などの特典があります。

→詳細は、<http://wwwsoc.nii.ac.jp/nkg/guide/g-nyukai.htm>

■3■ バナー広告募集

- ・賛助会員は、バナー広告掲載料の割引などがあります。

→詳細は、<http://wwwsoc.nii.ac.jp/nkg/banner.htm>

→掲載申込みは、[office@nkg.or.jp](mailto:office@nkg.or.jp)

■4■ 学会のWebサイト

・以下に、内外の教育・研究機関等からの人材や催事に関連する情報を掲載

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/nkg/menu-job.htm>

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/nkg/menu-kenkyukai.htm>

---

---

## 【2】日本語教育の情報

---

---

■ 1 ■ 平成 22 年度「留学生交流総合推進会議」の開催（文部科学省）

→詳細は、[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/gyouji/detail/1289017.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/gyouji/detail/1289017.htm)

■ 2 ■ 笹木竜三文部科学副大臣記者会見録（文部科学省）

→詳細は、[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/daijin/detail/1300026.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/daijin/detail/1300026.htm)

■ 3 ■ アジア諸国における高度外国人材の就職意識と活用実態に関する  
調査報告書（独立行政法人 労働政策研究・研修機構）

→詳細は、<http://www.jil.go.jp/institute/chosa/2010/10-080.htm>

■ 4 ■ 第 60 次教育研究全国集会

全国の教師が教育現場での取り組みを報告する日本教職員組合の教育研究全国集会（教研集会）が 22～24 日、茨城県で開催。「日本語教育」や「国際連帯の教育」などをテーマにした 25 の分科会で事例発表や討議が行われた。

■ 5 ■ BJT ビジネス日本語テスト 11 月 20 日実施

→詳細は、<http://www.kanken.or.jp/bjt/>

■ 6 ■ 国際交流政策懇談会（第 1 回）文部科学省

→詳細は、

[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chousa/kokusai/009/shiryou/1301497.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/kokusai/009/shiryou/1301497.htm)

平成 23 年度予算案額(平成 22 年度予算額)

○外国教育施設日本語指導教員派遣事業（REX プログラム）0.1 億円（0.1 億円）

○学生の双方向交流の推進 342 億円（355 億円）

日本留学フェア(海外 17 カ所)及び日本留学試験(海外 17 カ所)の実施等  
5 億円（6 億円）

留学生の受入れ環境の充実 319 億円（342 億円）

外国人留学生奨学金制度の充実 293 億円（312 億円）

国費外国人留学生への奨学金の給付

私費外国人留学生への学習奨励費の給付

留学生短期受入れと日本人学生の海外派遣を一体とした交流事業（受入れ分）

留学生宿舎の確保 10 億円（11 億円）

留学生の就職支援 0.1 億円（0.1 億円）

---

---

### 【3】賛助会員からの情報（50 音順）

---

---

#### ■ 1 ■ 書籍

##### □ 1 □ アルク

- ・新刊『日本語教師になろう 2012 年度版まるごとガイド』

ISBN : 978-4-7574-1951-3 価格 : 1,575 円

日本語学校の日々のドタバタ劇をマンガで描いた「日本語学校ワクワクな日々」をはじめ、日本語教師のリアルな姿を紹介します。ほかにもリクルート情報や就職活動の手順も解説。日本語教師になるためのお役立ち情報が満載です。

→詳細は、<http://shop.alc.co.jp/spg/v/-/-/7011018/>

- ・新刊『合格できる日本語能力試験 N 3』

ISBN : 978-4-7574-1950-6 価格 : 2,310 円

浅倉美波, 井江ミサ子, 山本京子 著

日本語能力試験 N 3 レベルに合わせた対策問題集。N 3 レベルの出題形式・レベルに合わせた例題を数多く解くことで、本番で合格点を取るための実力を養成します。実践形式の総復習問題にチャレンジすることで、自分の実力を客観的に知ることができます。

→詳細は、<http://shop.alc.co.jp/spg/v/-/-/7010028/>

- ・新刊『新にほんご〈生活の漢字〉 漢字み〜つけた』

『生活の漢字』をかんがえる会（新庄あいみ, 新矢麻紀子, 永井慧子, 御子神慶子, WOO Wai Sheng）著

ISBN : 978-4-7574-1953-7 価格 : 1,890 円

『新にほんご〈あいうえお〉』の続編として、初めて漢字を学ぶ人のためのテキスト。テーマは難易度別に 12 に分かれています。銀行の ATM 画面やアルバイト募集の掲示など、実物の写真が多数掲載され、その写真の中に出てくる漢字の練習ができるように構成されています。

→詳細は、<http://shop.alc.co.jp/spg/v/-/-/7010047/>

□ 2 □ 財団法人海外技術者研修協会 (A O T S)

2008年度以降、E P A協定に基づく、インドネシア人、フィリピン人看護師、介護福祉士候補者に対する日本語研修を行っており、その際に開発・使用していた教材をE P A候補者だけでなく、「専門日本語入門」シリーズとして一般にも販売することになりました。

「場面から学ぶ介護の日本語」(凡人社)です。詳しくは、書店等にお問い合わせください。

→詳細は、凡人社 <http://www.bonjinsha.com/senmon-nihongo/>

□ 3 □ スリーエーネットワーク

- ・新刊『初級日本語学習者のための待遇コミュニケーション教育

—スピーチスタイルに関する「気づき」を中心に—』

ウォーカー泉 著

ISBN : 978-4-88319-550-3 価格 : 3,150 円 (税込)

→詳細は、<http://www.3anet.co.jp/new/soon.html>

- ・新刊『サードカルチャーキッズ 多文化の間で生きる子どもたち』

デビッド・C. ポロック, ルース=ヴァン・リーケン 著 嘉納もも,  
日部八重子 訳

ISBN : 978-4-88319-526-8 価格 : 1,680 円 (税込)

「サードカルチャーキッズ(TCK)」とは、両親の生まれた国の文化を第一文化、現在生活している国の文化を第二文化とし、この二つの文化の狭間で特定の文化に属することなく独自の生活文化を創造していく子どもたちのことです。

→詳細は、<http://www.3a-cocoro.com/article/13785217.html>

- ・新刊『日英対訳 外国人をサポートするための生活マニュアル役立つ情報と  
トラブル解決法 第2版』

移住労働者と連帯する全国ネットワーク 編

ISBN : 978-4-88319-554-1 価格 : 2,100 円 (税込)

→詳細は、[http://www.3anet.co.jp/japanese/seikatsu\\_manual.html](http://www.3anet.co.jp/japanese/seikatsu_manual.html)

□ 4 □ 凡人社

- ・新刊『場面から学ぶ介護の日本語【本冊】』

海外技術者研修協会編著

ISBN : 978-4-89358-768-8, 価格 : 3,465 円

中級を修了した学習者が介護の入門的な語彙表現や運用能力を習得することを目的とした教材です。翻訳やことば、漢字などの補助教材は凡人社のウェブサイトから無料でダウンロードすることができます。なお、本書は凡人社の店頭だけで販売していた『専門日本語入門シリーズ』を見やすくレイアウトし直し、CD2 枚付きにしたものです。また、2011 年 4 月には【教師 用手引き】が、夏・秋には、『場面から学ぶ看護の日本語【本冊】』『場面から学ぶ看護の日本語【教師用手引き】』が発行の予定です。

→詳細は、[http://www.bonjinsha.com/product/?item\\_id=5226](http://www.bonjinsha.com/product/?item_id=5226)

- ・新刊「第二言語としての日本語の習得研究第 13 号」

第二言語習得研究会編

価格 : 1,575 円

第二言語習得研究会が年に 1 回発行しているジャーナル最新号。今回の特集は「シャドーイングの実践と研究」。関連論文 5 本のほか、研究論文、展望論文、誌上講座を掲載。最新の第二言語習得の知見を提供。第二言語習得の研究者だけでなく、すべての日本語教師に読んでいただきたい 1 冊です。

→詳細は、[http://www.bonjinsha.com/product/?item\\_id=5216](http://www.bonjinsha.com/product/?item_id=5216)

#### □ 5 □ ジャパンタイムズ

- ・新刊『Nihongo Notes 日本語ノート』Vol. 1, Vol. 2

Vol. 1 : Language and Culture ことばと文化

ISBN : 978-4-7890-1424-3 価格 : 1,575 円

Vol. 2 : Language and Communication ことばとコミュニケーション

ISBN : 978-4-7890-1425-0 価格 : 1,575 円

水谷修・水谷信子著

The Japan Times 紙の人気コラムをまとめた『Nihongo Notes』から「文化」と「コミュニケーション」をテーマに各 50 編を厳選し、英日対訳で新編集。日常のあいさつや決まった言い回しに映し出される日本人の対人関係意識やことばの社会的・文化的意義を、外国人の疑問に答えながらユーモアを交えて解説します。日本語と日本社会に対する理解がさらに深まるシリーズです。

→詳細は、

<http://bookclub.japantimes.co.jp/title/Nihongo%20Notes%20%20vol.%201>

## ■ 2 ■ 活動

### □ 1 □ 朝日カルチャーセンター 日本語科

- ・公開講座「日本語教育⇔認知言語学

—日本語教師なら持っておきたい認知言語学のカード—

講師：荒川洋平（東京外国語大学准教授）

日時：2月12日（土）13：00-17：00

会場：新宿住友ビル3階 朝日カルチャーセンター

受講料：一般 7,980円，朝日カルチャーセンター会員 6,720円

→詳細は，

<http://www.asahiculture.com/LES/detail.asp?CNO=98615&userflg=0>

- ・公開講座「読解力を高める」一文の前後を読む力—

講師：石黒圭（一橋大学准教授）

日時：2月26日（土）15：40-17：40，3月12日15：40-17：40 全2回

会場：新宿住友ビル3階 朝日カルチャーセンター

受講料：一般 7,140円，朝日カルチャーセンター会員 5,880円

→詳細は，

<http://www.asahiculture.com/LES/detail.asp?CNO=98258&userflg=0>

- ・日本語教育徹底研究講座 I 「格助詞の機能と用法

—構文・意味分析と指導法—

講師：柏崎雅世（元東京外国語大学教授）

日時：3月7日（月）13：00-15：00，14日（月）13：00-15：00 全2回

会場：新宿住友ビル3階 朝日カルチャーセンター

受講料：一般 7,980円，朝日カルチャーセンター会員 6,720円

→詳細は，

<http://www.asahiculture.com/LES/detail.asp?CNO=98608&userflg=0>

- ・日本語教育公開講座「一達人に聞く—日本語教育能力検定試験って何？」

講師：岡田英夫（元『日本語ジャーナル』編集長）

日時：3月19日（土）13：00-15：00

会場：新宿住友ビル3階 朝日カルチャーセンター

受講料：一般 3,990円，朝日カルチャーセンター会員 3,360円

→詳細は，

<http://www.asahiculture.com/LES/detail.asp?CNO=100677&userflg=0>



□ 2 □ 財団法人海外技術者研修協会 (A O T S)

AOTS は、開発途上国から日本の産業技術移転を目的に研修生（管理監督・指導的職務にある人）を招聘し、研修を行っております。各種研修コースの中には、日本語教育を含む「6 週間コース」と「13 週間コース」があり、横浜市、大阪市、豊田市の各研修センターで行われています。内容は、日本語に加え、一般講義（通訳付き）として日本企業理解や管理技術を、また工場や公共施設等の見学、成果発表会などを実施しております。研修生は、A O T S での研修後、企業での専門技術の研修を経て、母国企業に戻り活躍されています。

→詳細は、<http://www.aots.or.jp/jp/use/kokunai/ippan/index.html>

□ 3 □ 財団法人国際文化フォーラム

:『国際文化フォーラム通信 No.89』(2011 年 1 月発行)

→詳細は、[http://www.tjf.or.jp/newsletter/pdf\\_jp/F89.pdf](http://www.tjf.or.jp/newsletter/pdf_jp/F89.pdf)

・『21 世紀のグローバル社会に対応する外国語教育へパラダイムシフト

—文法中心の外国語教育からの脱却』（當作靖彦氏講義資料）

カリフォルニア大学サンディエゴ校當作靖彦教授が主任講師を務めた外国語教師のための研修の講義の中から、真のコミュニケーション能力を身につけるための外国語教育の目標・内容・方法をわかりやすく解説しています。

→詳細は、

[http://www.tjf.or.jp/newsletter/pdf\\_jp/F89\\_tosaku\(c\)\\_01.pdf](http://www.tjf.or.jp/newsletter/pdf_jp/F89_tosaku(c)_01.pdf)

[http://www.tjf.or.jp/newsletter/pdf\\_jp/F89\\_tosaku\(c\)\\_02.pdf](http://www.tjf.or.jp/newsletter/pdf_jp/F89_tosaku(c)_02.pdf)

□ 4 □ 新宿日本語学校

・第 53 回全伯日本語教師合同研修会（ブラジル・サンパウロ）

1 月 12 日から 14 日までブラジル日本語センターで開催。江副校長協力によるセンター発行の児童向け教科書「一、二、三、にほんごで はなしましょう（I）」の活用について講演。同教科書は、日本で同氏が改訂し、日系ブラジル人子弟対象日本語教育等にも使われています。

ブラジリア日本語普及協会（ブラジリア・モデル校）でも講演。

→詳細は、<http://www.cblj.com.br/cblj-ja/godojp.htm>

・平成 22 年度尾道特別支援学校聴覚障害教育公開講演会「外国人に日本語を教える現場から提案する日本語文法の動詞の見方」江副 隆秀

1月6日に尾道特別支援学校で療育機関及び教育機関関係者を対象に行われた研修。

→詳細は,

[http://www.onomichi-sd.hiroshima-c.ed.jp/02onomiti/r10tiikisienn/h22/h221125kouenkai\\_tiikisienn.pdf](http://www.onomichi-sd.hiroshima-c.ed.jp/02onomiti/r10tiikisienn/h22/h221125kouenkai_tiikisienn.pdf)

[http://www.onomichi-sd.hiroshima-c.ed.jp/02onomiti/r10tiikisienn/h22/h221125tiikisiennedayori\\_no4.pdf](http://www.onomichi-sd.hiroshima-c.ed.jp/02onomiti/r10tiikisienn/h22/h221125tiikisiennedayori_no4.pdf)

#### □5□ スリーエーネットワーク

・特別連載 第3回目 日本語教科書活用講座「日本語, 作文指導 Q&A 『留学生のためのここが大切 文章表現のルール』

実際に学習者に作文を書かせた場合, 授業はどのように組み立てればいいのか。

→詳細は, [http://www.3anet.co.jp/seminar/bunshohyogen\\_no\\_ruru2.html](http://www.3anet.co.jp/seminar/bunshohyogen_no_ruru2.html)

・Web サイトのトップページを刷新しました。

→詳細は, <http://www.3anet.co.jp/>

#### □6□ スリーエー・ネットワーク, 凡人社, アルク共催

・「地域で活動する日本語ボランティアのための研修会 in 名古屋」

各地で好評の3社合同のボランティア向け研修会を名古屋で開催。これから日本語を教えようと思っている方, 教え始めた方にピッタリのセミナーですので, 是非ご参加ください!

日時: 2月26日(土) 13:00-16:25

場所: ウィンクあいち1204(中会議室B)

参加: 先着65名, 参加費無料

→詳細は, <http://www.bonjinsha.com/osaka/>

#### □7□ 凡人社

・日本語教育能力検定の改定とNAFLを使った検定合格法

日時: 2月5日(土) 14:00~15:30

会場: 凡人社麴町店(千代田区平河町1-3-13)

参加: 無料 ※予約不要

→詳細は, <http://www.bonjinsha.com/kojimachi/>

・『留学生の日本語力を高めるために』

～『「大学生」になるための日本語』を使用して～

日時：2月12日（土）14：00～15：30

会場：凡人社麴町店（千代田区平河町1-3-13）

参加：無料 ※予約不要

→詳細は、<http://www.bonjinsha.com/kojimachi/>

・『BASIC KANJI BOOK WORKBOOK 使って、身につく！漢字×語彙1』

～そのコンセプトと使用法について～

日時：2月12日（土）14：00～16：00

会場：愛日会館（大阪市中央区本町4-7-11）

参加：1,000円 ※要予約

→詳細は、<http://www.bonjinsha.com/osaka/>

・新刊教材説明会『できる日本語』 IN 仙台

～教科書を通して、授業を見直しませんか～

日時：2月18日（金）18：30～20：30

会場：東北多文化アカデミー（仙台市青葉区大手町6-1）

参加：無料 ※予約不要

→詳細は、<http://www.bonjinsha.com/business/>

・日本語教師養成講座説明会【全3回】

日時：2月19日～3月5日（各土曜日）13：00～16：30

会場：凡人社麴町店（千代田区平河町1-3-13）

参加：無料 ※予約不要

→詳細は、<http://www.bonjinsha.com/kojimachi/>

□8□ 財団法人ラボ国際交流センター ラボ日本語教育研修所

・公開講座「日本語教師を目指す人のための冬期公開講座」

講師：大関浩美（麗澤大学准教授）、宇佐美洋（国立国語研究所准教授）

日時：3月12日（土）13：00～16：30

会場：株式会社ラボ教育センター（西新宿三井ビル13階）

受講料：2,000円

定員：50名

内容：日本語教師を目指している方、あるいは日本語教育に関心をお持ちの方対象の公開講座です。「外国語ができる」「日本語ができる」とはどういうことなのかを皆さんと一緒に考えます。

→詳細は, <http://www.labo-nky.jp/event/event6.html>

---

---

#### 【4】一般情報・募集

---

---

##### ■ 1 ■ 情報

##### □ 1 □ 報告書

- ・「日本語口頭産出能力テスト・評価法研究報告書」  
CEFR 準拠・日本語口頭産出能力評価法 (OJAE)  
→詳細は, <http://www.ojae.org/dvd>

- ・独立行政法人労働政策研究・研修機構「アジア諸国における高度外国人材の就職意識と活用実態に関する調査報告書」  
→詳細は, <http://www.jil.go.jp/institute/chosa/2010/10-080.htm>

##### □ 2 □ 活動

- ・「日本の学校へ行っていない外国籍の子どもの日本語教室」  
NPO 法人トルシーダ  
→詳細は, <http://www.geocities.jp/torcidajpp/>

##### □ 3 □ 新聞記事

- ・「妊産婦をサポート, 中国語医療通訳を養成へ」京都新聞 (9/23)  
<http://www.kyoto-np.co.jp/kyoto/article/20100923000041>
- ・「雇用の「輸入」を止めろ」産経新聞 (/11/23)  
<http://www.iza.ne.jp/news/newsarticle/economy/policy/466398/>
- ・「世界一, 教育の質が高い国, 日本へ」日経新聞 (12/28)  
<http://www.nikkei.com/news/topic/article/g=96958A9C93819596E3E4E2E6E28DE3E4E3E0E0E2E3E2869087E2E2E2>

##### □ 4 □ 行政

- ・「言語活動の充実に関する指導事例集【小学校版】について」文部科学省  
→詳細は,  
[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/new-cs/gengo/1300990.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/gengo/1300990.htm)

- ・「敬語おもしろ相談室」文化庁  
→詳細は, [http://www.bunka.go.jp/kokugo\\_nihongo/keigo/index.html](http://www.bunka.go.jp/kokugo_nihongo/keigo/index.html)
- ・教育情報通信ネットワーク「エル・ネット・システム」文部科学省  
→詳細は, <http://www.elnet.go.jp>
- ・「大学改革 GP ナビ－Good Practice－」文部科学省  
→詳細は, [http://www.mext.go.jp/a\\_menu/koutou/tokushoku/05060601.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/tokushoku/05060601.htm)

## ■ 2 ■ 募集

### 1 投稿者

- ・米国日本語教師会継承語グループ：オンラインジャーナル  
<http://www.aatj.org/atj/SIG/heritage/ejournal/index.html>
- ・『言語教育評価研究』第2号(2011) ※投稿締切：2月14日(月)  
<http://www.jpj.go.jp/j/japanese/new/1010/10-01.html>

### 2 発表者

- ・沖縄県日本語教育研究会  
発表応募締切：2月14日(月)  
<http://www.soc.nii.ac.jp/nkg/kenkyu/2010/20101207okinawanihongo.pdf>
- ・第3回北東アジア言語教育学会  
発表応募締切：2月14日(月)  
<http://www.iuj.ac.jp/language/conference/near/index.html>
- ・カナダ日本語教育振興会 CAJLE 2011 年次大会  
発表応募締切：4月7日(木) 必着  
<http://www.cajle.info/>

### 3 参加者

- ・『言語プログラム評価』を考える(国際基督教大学 小澤伊久美)  
日程：2月12日(土)  
→詳細は, <http://kokucheese.com/event/index/7265/>

- ・自分の学習者のために自分で教材を作ろう（NPO 日本語教育研究所）  
 日程：2月12日（土）他全4回  
 →詳細は、[http://www.npo-nikken.com/event/event10/asano11\\_02.htm](http://www.npo-nikken.com/event/event10/asano11_02.htm)
  
- ・ユネスコ国際母語デー記念学術講演会（大阪大学世界言語研究センター）  
 日程：2月19日（土）  
 →詳細は、  
<http://www.soc.nii.ac.jp/nkg/kenkyu/2010/20101124MotherLanguageDay.pdf>
  
- ・第19回音声学セミナー「乳児音声発達研究入門」（日本音声学会）  
 日程：2月19日（土）  
 →詳細は、<http://www.psj.gr.jp/jpn/phonetics-seminar/19th.html>
  
- ・TAEを応用した作文指導（NPO 日本語教育研究所）  
 日程：2月19日（土）  
 →詳細は、<http://www.npo-nikken.com/event/event10/tokumaru1102.htm>
  
- ・第14回研究会「音声で気持ちを伝える一声優としての音声表現の工夫」（日本語教育と音声研究会）  
 日程：2月26日（土）  
 →詳細は、<http://www.gsjal.jp/todo/kenkyuukai.html>
  
- ・第2回「多読のためのリライト講座」（NPO 法人日本語多読研究会）  
 日程：2月27日（日）他全2回  
 →詳細は、<http://www.nihongo-yomu.jp/>

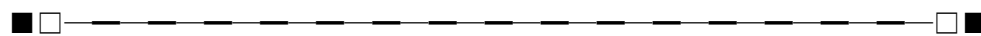
■ 3 ■ 情報提供依頼

メルマガ担当 [kouhou-iinkai@nkg.or.jp](mailto:kouhou-iinkai@nkg.or.jp) までお願いします。  
 内容確認等の上、メールマガジンに掲載します。

=====

<購読詳細><http://www.soc.nii.ac.jp/nkg/menu-mmag.html>  
 <購読登録><http://www.nkg.or.jp/mmag/mmag-toroku.html>  
 <登録解除><http://www.nkg.or.jp/mmag/mmag-cancel.html>  
 <問い合わせ>[kouhou-iinkai@nkg.or.jp](mailto:kouhou-iinkai@nkg.or.jp)

<フォント>このメールマガジンは、等幅フォントでご覧ください。



<発行者> 社団法人日本語教育学会

<http://www.soc.nii.ac.jp/nkg/>

<編集者> 広報委員会

メルマガについての連絡先：[kouhou-iinkai@nkg.or.jp](mailto:kouhou-iinkai@nkg.or.jp)

<発行年月> 2011年2月1日

